

資料提供
広報取材依頼

情報提供日	令和6年11月21日	
問い合わせ先	ふるさとおにむらづくり 実行委員会 事務局 縄江 博紀 090-4653-6361	大田市産業振興部 観光振興課 観光振興係：近藤 辰郎 0854-83-8192

－ 大田市日本遺産「石見の火山」活用事業 －

パネル展・トークショー「大田市の石膏が日本の発展に果たした役割」

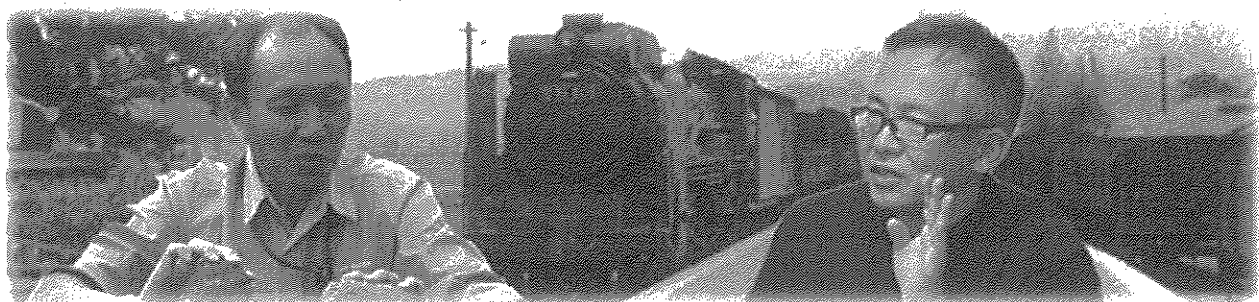
1. 行 事 名	大田市の石膏が日本の発展に果たした役割 ～ここまでわかった、松代鉱山・鬼村鉱山・和江港・静間駅～
2. 目 的	松代・鬼村鉱山およびその関連遺構に関する最新の知見を市民に提供し、調査研究や保存への理解を深める
3. 開催（実施）期間	令和6年12月7日（土）
4. 開催（実施）時間	午後3時15分～午後4時30分
5. 開催（実施）場所	大田市民センター4F
6. 主 催	ふるさとおにむらづくり実行委員会
7. 協 力	松代・鬼村鉱山等調査研究協議会 大田市日本遺産推進協議会（事務局：大田市観光振興課）
8. 参加・入場者数	50名
9. 行事の内容	（全体の概要、特徴的なものなど） ・ふるさとおにむらづくり実行委員会（以下、当会）は、地元の日本遺産「鬼村の鬼岩」の魅力と認知度を高めるため、これまで大田市日本遺産推進協議会と連携しながら「鬼岩公園の整備」、「QRコード付き案内板の設置」、「バイオトイレの整備」などを行ってきました。 ・本年度は、「鉱山と鬼岩の里おにむら」をテーマに、鬼村鉱山（大田市大屋町鬼村）に代表される大田市の石膏鉱山群とその関連遺構に関する調査研究や、鉱山の功績を伝えるミニミュージアムの整備を行っています。 ・このたび、「大田市日本遺産 石見の火山活用事業」の助成を受けて、最新の調査研究に基づいた解説パネルを制作しました。大田産の石膏が日本の近代化・高度成長に大きな役割を果たしたことや、石見銀山の衰退に代わって地域経済を支えたことがみてとれる、わかりやすいパネルになっています。 ・これを広く市民に見ていただけるよう、別紙要領でパネル展を開催します。調査研究およびパネル制作に指導助言をいただいております、中村唯史さん（三瓶自然館サヒメル）、阿部志朗さん（島根地理学会副会長・県立大田高等学校長）のトークショーも併せて開催致します。事前の広報および当日の取材にご協力を賜りますようお願いいたします。
10. その他	・取材いただける場合は、事前に担当者までお知らせください。



講演会・パネル展
入場無料

大田市の石膏が 日本の発展に果たした役割

—ここまでわかった、松代鉱山・鬼村鉱山・静間駅・和江港—



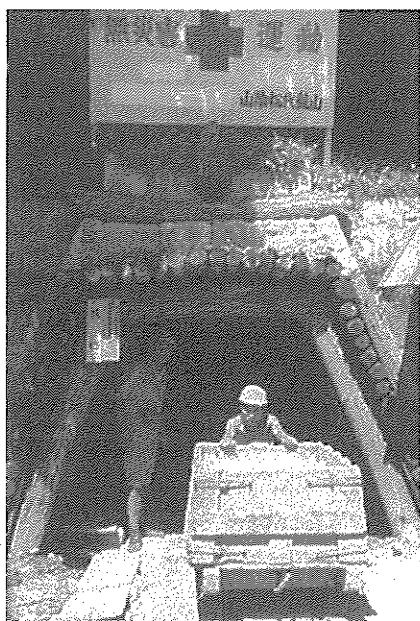
大田市はかつて、日本最大の「石膏」の産出地でした。大正から昭和40年代につくられた道路、橋、港、ダム、トンネルの多くに、大田市の石膏が使われています。日本の近代化・高度成長を支えた2つの鉱山と、和江港、静間駅について、専門家と学習してみませんか？

1. 日時 令和6年12月7日(土) 15:15~16:30
2. 場所 大田市民センター4F
3. 講師
阿部 志朗さん(島根地理学会副会長・大田高等学校校長)
中村 唯史さん(島根県立三瓶自然館)



4. 申し込み(電話またはQRコードより)

ふるさとおにむらづくり実行委員会事務局 090-4653-6361 (なわえ)



松代鉱山(久利町)



大田市産の石膏が使われた黒部ダム・黒部川第四発電所